

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	大垣市	学校名	大垣市立小野小学校			
校長名	佐藤 明弘	対象学年	全校児童	人数	826人	
活動名	小野小校区祭（全校） ぼくらの仲間ホタル君（4年）	時間数	全校 6時間 4年生 35時間	継続年数	18年	
題材	<ol style="list-style-type: none"> 1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） 5 地域との積極的な関わりをつくる活動等 6 その他（ ） 		<ul style="list-style-type: none"> [ホタル育成] [] [] [] [小野小校区祭] [] 			
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地域講師を定期的に招き、ビオトープ環境整備やホタル育成の指導を受け活動している。 ・全職員とPTA役員対象に、ホタル育成講習会を開き、地域講師からの説明を受け、学校と保護者が連携してビオトープ管理・ホタル育成に当たる体制づくりをしている。 					
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタルを育てるために、課題を見つけ、必要な事項を調べることを通して環境を調べたり飼育をしたりする中で、小野の環境や命の尊さについて考え、よりよい生活のために実践することができる。 ・地域の方々と共に、公開授業・レクリエーション・ホタル観賞をすることで、地域の絆を深め、小野地区に愛着と誇りをもつことができる。 <p>2 活動の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ホタルが住むことのできる環境を考える」ことを通して、水をきれいに保つ活動を考え実践する。 ・校区の掛斐川にてカワゲラウォッチングを実施し、地域の環境を美しく保つことの大切さを知る。 ・ホタル育成するため、餌(カワニナ)取りと管理、幼虫の観察・飼育を4年生児童とPTAで協力して行う。 ・小野小校区祭を毎年6月の第1土曜日に実施する。授業公開、地域交流、ホタル観賞の3部構成。 ・地域の公民館祭で、「小野小学校の環境とホタル飼育」をテーマとした発表を4年生が行い、地域へ本校の活動内容を発信する。 <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の公民館祭でホタル育成について、児童が合唱と語りで発表し、地域の三世代交流に貢献した。 ・小野小校区祭実行委員会を4回開催した。実行委員長は校区の自治会長から選出し、学校関係者・PTA関係者・地域の各種団体の方が参加される。地域の青少年育成団体が共同立案・準備・運営にあたった。 ・小野小校区祭において、第1部の授業公開に、保護者に加えて地域の方々にも広く案内し参観された。また、俳句教室や自然教室で、地域講師を招き、地域と一体感をもった授業を展開した。 ・小野小校区祭第2部では、地域の青少年育成団体が担当するブースでのレクリエーションに多くの児童が参加し、地域とのつながりを深めることができた。また、PTAと5年生中心にアルミ缶・牛乳パックの回収を行うことで、環境についての意識を高めることができた。 ・小野小校区祭第3部では、地域講師によるホタル音頭及び俳句指導を受けた。児童と大人が一緒になり、ビオトープでホタルの飛ぶ姿を観賞し、ホタルに関わる俳句を投句した。 <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査質問紙の「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問に対する回答で、本校の結果が、全国に比べて40ポイントほど高く、地域社会と児童との関わりが深いことがわかる。 ・ホタル育成やカワゲラウォッチングを通して、児童の地域の環境を大切にする意識が向上した。また、自然環境保護活動をしている地域の方の活動や思いにふれ、地域への愛着をもった。 ・校区祭に参加し、地域の青少年育成団体の方とのかかわりを深めた。また、ホタルを観賞することで、地域の良さを実感し、小野地区に誇りと愛着をもつことができた。 ・地域の公民館祭で発表し、認められることで、自分たちの活動に自信と誇りをもつことができた。 						